

# 災害に備える

総合防災課 ☎77・2078

9月は台風が上陸しやすい時期です。台風が来る前に、家庭で防災について話し合う機会を持って、避難方法や家族との連絡の取り方を確認しておきましょう。

気象情報で大雨が予想される場合、がけ崩れ危険箇所や土石流危険渓流の近くに住んでいる人は、いつでも避難できるように準備して、早めの判断で避難しましょう。エフエム宝塚(83・5メガヘルツ)では、災害が予想されたり発生したときは、通常番組を変更して市災害対策本部などからの災害情報を放送します。

## 危険箇所・避難所の確認を

近年、降雨量が多く地盤が緩みがちです。集中豪雨や断続的な降雨により、土石流などの土砂災害が発生しやすいと予想されます。土砂災害警戒区域や避難所を掲載した「宝塚市ハザードマップ」は、水政課、各サービスセンター・ステーションで閲覧でき、市ホームページにも掲載しています。ハザードマップを活用して、自宅付近の地形や危険箇所、避難所などを確認しましょう。詳しくは、水政課(☎77・2103)へ。

## 市民の皆さんを守るために

市は、台風の接近や大雨などによる風水害の恐れが生じた場合に、段階的に水防警戒本部や水防本部を設置するなどして市民の皆さんの安全確保を図ります。市内15箇所に設置した雨量計による時間雨量や連続雨量および武庫川の水位や、気象情報(台風の進路や降雨など)を注視しながら、担当職員の待機体制をとり、避難勧告の発令などを行います。詳しくは、総合防災課(☎77・2078)へ。

## マンション防災セミナー

今後高い確率で起こると言われる東南海・南海地震。また、突発的な豪雨などの発生頻度も高くなっていると言われており、地域での助け合いが重要となります。そこで、「無理せず」「楽しい」をモットーに自主的な防災に取り組んでいる「加古川グリーンシティ」から成功の秘訣を学ぶため、「防災の輪を広げるコツ~楽しく防災をやろう~『生活防災』~防災の概念をぶっ潰せ!~」をテーマに、加古川グリーンシティ防災会会長 大西賞典さんを講師にお招きしての講演会を開催します。

日時 9月30日(日)9時半~正午  
場所 宝塚市役所 大会議室  
申し込み 9月3日(月)~25日(火)に、〒住所・氏名、電話番号を明記の上、ファクス(☎77・2102)で総合防災課へ。先着120人。参加無料。

緊急時に有効な防災メールの登録を

## 「安心メール」

各市町を単位として発表される大雨・洪水などの気象警報や災害情報を受信することができます。

登録は、右の二次元バーコードを読み取るか、[takarazuka@bosai.net](mailto:takarazuka@bosai.net)へ空メールを送信してください(本誌36ページ参照)。



緊急速報をメールで受け取る

## 「エリアメール」【緊急速報メール】

市では避難勧告など緊急度の高い情報を、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの携帯電話へ配信します。登録の有無には関係なく市域内にいる人の所持する各キャリアの携帯電話に一斉配信するシステムで、月額使用料や受信料は無料です。詳しくは、総合防災課(☎77・2078)へ。

秋の全国交通安全運動  
9月21日~30日

## 交通安全市民カーニバル

防犯交通安全課 ☎77・2020

市民の皆さんに楽しみながら交通安全意識を持ってもらうため、例年たくさんの皆さんが参加する交通安全市民カーニバルを開催します。音楽演奏や交通安全啓発、展示など盛りだくさんの内容を予定しています。

日時 9月22日(祝)10時~16時  
場所 宝塚ホテル 定員 先着2000人、入場無料  
申し込み 9月3日(月)から、防犯交通安全課、各サービスセンター・ステーション、交通安全協会の窓口にて入場整理券をお受け取りください。



※協賛も募集中です

## 親子で交通安全を学びませんか?

就学前の幼児を対象に、幼児交通安全クラブの平成25年度会員を募集します。信号の見方、自転車の乗り方、チャイルドシートの使用方法などを親子で楽しく学ぶ教室を行います。

※9月28日(金)15時半から勤労市民センターで教室を行います。見学者大歓迎です。

# 平成23年度 行財政運営アクションプラン の実績報告

行財政改革担当 (☎77・2409)

昨年7月に策定の市行財政運営に関する指針と同アクションプラン(平成23年度から平成27年度までの5年間の計画期間)に基づき行財政改革に取り組み、平成23年度の実績を取りまとめましたので報告します。全文は市ホームページに掲載しています。

## 概要

- ・取組細項目 ..... 40項目
- 目標達成・取組完了 ..... 6項目
- 取り組み中(一部目標達成) ..... 27項目
- 取り組み中 ..... 7項目
- 実施に向けて検討中 ..... 0項目
- ・取組効果額 約1億8,400万円

## 指針の体系ごとの主な取り組み

### 【1 最適な公共サービスの追求】

- (1) 市民参画と協働による行財政運営の推進  
パブリック・コメント制度の活用や市民アンケートの実施により、市政への市民参画の推進を図りました。
- (2) 効果的で効率的な公共サービスの提供  
事務・事業の見直しや補助制度の見直しによって支出を抑えるとともに、次の各種料金の見直しを行いました。  

看護専門学校授業料	月額20,000円→30,000円
地域児童育成会育成料	月額6,000円→8,000円
火葬場使用料(市民以外の12歳以上)	20,000円→40,000円 など
- (3) 公的施設のあり方の検討および市有財産の活用  
施設のあり方を見直し閉鎖を含めた方向性を決定するほか、未利用の市有地などの有効活用を図りました。
- (4) 行政マネジメントシステムの機能強化  
平成24年度から行政評価に外部の視点を導入するため、行政評価委員会設置の準備を行いました。また、総合計画を効果的・効率的に推進するため、平成24年度戦略計画(重点取り組み方針)を策定しました。

### 【2 質の高い行政運営の推進】

- (1) 職員力の向上  
人事制度の見直しに向けた制度や条件整備を行うほか、職員の資質、能力向上のための研修を実施するなど人材育成に取り組みました。

- (2) 機能的な組織づくり  
平成24年度から危機管理体制の強化やエネルギーの利活用の推進を図るための組織改正を実施したほか、食育グループといった行政課題対策グループなどによる活動を行い、機能的・弾力的な組織運営を行いました。
  - (3) 定員・給与の適正化  
定員適正化計画に基づき業務に応じた適正な定員管理を行った結果、平成23年4月1日現在の地方公営企業の職員を除く職員数は前年度と比較して37人減となりました。  
職員数 平成22年4月1日現在1,409人  
→平成23年4月1日現在1,372人
  - (4) ICT(情報通信技術)の活用および環境への配慮  
データセンターを活用するなどICTの活用、情報セキュリティ対策を実施したほか、行政運営における環境負荷を低減させるため、環境マネジメントシステムの対象を市の全施設に広げました。
- ### 【3 健全な財政運営の推進】
- (1) 財政健全化  
財政健全化に向けての取り組みの結果、健全化判断比率とその他の財政指標などは概ね適正な水準を保ちました。また、平成24年度から行政情報モニターや庁舎内公共施設案内板への広告掲載を実施するための準備を行うなど、新たな歳入の創出に取り組みました。  
市民1人あたりの地方債残額(交付税100%措置の地方債を除く)  
平成22年度末23万6千円→平成23年度末21万6千円  
財政調整基金の額  
平成22年度末43億円→平成23年度末48億円
  - (2) 地方公営企業の経営健全化  
経営改革に取り組んだ結果、市立病院、上下水道事業ともに目標とする経常収支比率を達成しました。
  - (3) 外郭団体等の経営健全化  
第三セクター等経営検討会、土地開発公社経営健全化検討会を開催し、各団体の経営改善について検討しました。



市庁舎屋上の太陽光パネルと1階の発電モニター

注ぐ光すべてを1時間分集めることが出来れば、世界中で1年に使われる全エネルギーを賄えるともいわれています。

太陽光発電は、光を電気に変換するものです。導入された家庭では、①発電量が使用量を上回る時間帯には、余った電気を電力会社に売る②家庭のエネルギー消費を「見える化」して消費電力をコントロールするHEMS(※)と組み合わせる③太陽光

考えよう! 広めよう!  
「新エネルギー」シリーズE

新エネルギー推進課 (☎77・2361)

今号では、太陽光発電と太陽熱利用を考えたいきます。私たちは太陽の恩恵を受けて生活をしていますが、太陽から地球に

発電の夜間に発電できない部分を補うため、昼間発電した電気を蓄電設備と組み合わせ夜間にも利用する④ガス給湯器による排熱を利用した発電と組み合わせる(ダブル発電)などの方法で太陽の光が使われています。

そして、市内の公共施設でも自家消費分として太陽光発電を利用しているほか、休館日などに余った電気を売っています。

また、太陽熱利用は、太陽の光が持つ熱をそのまま利用するシステムです。導入された家庭では、お風呂などの給湯に利用し、エネルギーの節約を行い、有効に利用されています。

### 市内公共施設 太陽光発電設置一覧

市立小・中学校 6校	63.03
市立保育所 3園	12.00
市役所庁舎	30.08
末広中央公園	19.80
中央図書館	20.00
浄水場などの施設5か所	21.59

定格出力の合計kw数

現在、その太陽光を利用した国内のエネルギー供給量の割合は全体の約0.2%(資源エネルギー庁調べ)に留まっており、今後の活用が期待されるエネルギーの一つです。

※ホームエネルギーマネジメントシステム